

【第129回生涯教育講座】

リーキーガット症候群 (Leaky Gut Syndrome) と疾患

—NASH 発症との関連性を中心として—

わ だ こう いち ろう
和 田 孝 一 郎

キーワード：リーキーガット症候群，NASH，腸粘膜

はじめに

リーキーガット症候群 (Leaky Gut Syndrome) とは腸管壁侵漏症候群 (Increased intestinal permeability) とも呼ばれており、本来であれば透過しないような分子量の大きな物質や食物アレルギー、外来性毒素などが腸粘膜から体内に漏れ出してしまう状態である。リーキーガット症候群に関してはこれまであまり注目されていなかったが、昨今の健康志向や腸内細菌ブームと相まって世間の関心を集めるようになってきた。しかしながら世間が注目する一方でリーキーガット症候群に関する研究はこれまであまり進んでいない状態であり、不明な点が多いのが現状である。特に様々な全身性の疾患発症との関連性についていろいろ指摘はされているが、殆どわかっていないのが現状である。

それではリーキーガット症候群のような腸粘膜の異常な亢進はなぜ引き起こされるのであろうか？ 透過性の異常亢進であるリーキーガット症候群がどのようにして様々な疾患を引き起こしているのであろうか？ リーキーガット症候群はど

のように診断できるのであろうか？ リーキーガット症候群は治療が可能なのか？ 治療が可能であるとするならば、治療することでリーキーガット症候群が原因で発症している様々な全身性疾患を改善することができるのであろうか？ そこで本稿ではこれらの多くの疑問に対して現在わかっている範囲で概説をくわえたうえで、我々の最近の成果をもとにリーキーガット症候群治療による非アルコール性脂肪肝炎 (Non-alcoholic steatohepatitis, NASH) の改善効果などについて解説する。

リーキーガット症候群とは：リーキーガット症候群とは前述のごとく腸管壁侵漏症候群とも呼ばれる状態であり、本来であれば透過しないような分子量の大きな物質や食物アレルギー、外来性毒素などが腸粘膜から体内に漏れ出してしまう状態のことを指している¹⁻⁴⁾(図1)。その名の通り正式な疾患名ではなく、あくまで状態をあらわしているにすぎない。いわゆる腸粘膜の透過性が異常に亢進している状態である。それではこのような腸粘膜の異常な亢進はなぜ引き起こされるのであろうか？

我々哺乳類は基本的に消化管から必要な栄養を吸収して生命活動を維持している。消化管では腸

Koichiro WADA

島根大学医学部薬理学講座

連絡先：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部薬理学講座